

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	里地里山行動計画推進事業	担当部局	自然環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度 (平成23年度名称変更)	担当課室	自然環境計画課	課長 塚本 瑞天			
会計区分	一般会計	施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	生物多様性国家戦略2010第2部第1章第6節1.6、第2部第2章第4節1.3				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	里地里山の保全活動の全国的な展開を図るとともに、自然資源の持続可能な利用・管理の枠組みを構築し、自然共生社会を実現する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	里地里山の保全活動を効率的かつ継続可能な取組とするため、里地里山の保全活用の取組について調査・分析を行い、特徴的な取組事例についての情報を発信する。また、保全活動の担い手の育成支援のための技術研修会の開催や里地里山の生態系管理などに関する専門家などの人材の登録・紹介を行うとともに、多様な主体の参加の促進を図るため、活動への参加を募集する全国の活動団体や活動場所等を紹介するための情報発信を行う。さらに、全国各地において里地里山の保全活動の展開を図ることを目的に策定した「里地里山保全活用行動計画」の促進を図るため、里地里山における自然資源の管理・利活用方策についての検討を行うほか、保全再生活動への多様な主体の参加を図るための社会システムを構築し、地域での自立的な里地里山の保全再生の促進を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	126	92	91	91	25
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	126	92	91	91	25
	執行額	124	90	83			
執行率 (%)	98	98	91				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	全国の里地里山の保全活動の促進を図る定量的な成果指標については、活動団体数や活動への参加者数の増加数等が考えられるが全国には不特定多数の活動組織が存在することからその把握が困難であるため	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	保全活動の技術支援や担い手育成支援としての「里なび研修会」の開催及び技術的方策の整理・発信	活動実績 (当初見込み)	地域	10	10	10	- (10) (10)
		保全活動への多様な主体の参加促進や保全活動の継続・促進を図るために有効な特徴的な取組事例情報のHP等による発信	事例		60	144	- (144) (144)
単位当たり コスト	研修会開催・技術方策の発信 (1,491,000円/地域)	算出根拠	X=委託金額:14,910,000円 Y=研修会開催地域数:10地域				
	特徴的な取組事例情報のHP発信 (68,250円/事例)		X=委託金額のうちHP情報発信分:9,828,000円(47,250千円×20.8%) Y=HP発進事例数:144事例				
平成23年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	自然環境保全調査等委託費	91	25	支援地域数、人件費等の見直しによる経費の節減			
	計	91	25				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	全国の里地里山の保全再生を図るためには、地域での自発的な取組が持続的に行われる必要があることから、国がその基本的な考え方を示すとともに必要な技術支援等を行うことは重要であるため本業務の必要性は高いと考えるが、このことについて国民全体の共通認識には至っていないため、今後は国民的運動として展開されるために有効な検討を行う必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に当たっては、契約方式に総合評価落札方式を導入するなどその透明性・公平性・競争性の確保は図られている。 単位当たりコストについては既に必要最小限の成果を求める内容に限定していることからこれ以上の削減は困難と考えるが、今後は実施地区数等についてその効果を見極め決定していくこととしたい。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当該事業実施により一部の地域において活動への参加者数が増加したり、研究機関や地方自治体との連携が始められるなどの効果が認められているが、定量的に評価する指標が確立されていないため、適切な成果目標を立てその達成度を把握できるよう、今後は適切な評価指標や手法を確立する必要がある。
	×	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当該事業の実施により一部の地域において保全活動への参加者数の増加や多様な主体との連携の促進が図られるなどの効果が認められていることから、今後も引き続き地域での自律的な里地里山の保全活用が持続的に行われるために効果的な情報発信や必要な技術的支援を行うこととする。なお、本事業の効果を定量的に把握するための指標や手法を確立できるよう併せて検討を行うものとする。また、里地里山の自然資源の利活用方策について環境教育やエコツーリズムの場の提供、間伐材等のバイオマス利用、野生生物に着目した地域ブランドの確立など経済効果も期待した具体的な地域づくりとして展開するため必要な検討を行うなど効果的かつ効率的な支援を行うこととするが、今後はこれらに加え、里地里山の意義についての国民の理解を促進し、多様な主体の参加による保全活用の取組が全国各地で展開されるための課題を抽出しその対応方針についての検討を行い、その結果の活用を促すための普及に努めることとする。</p> <p>本事業については、平成21年度予算要求時点に無駄削減の観点から業務内容の見直しを行っており、単位当たりコストについても既に必要最小限の成果を求める内容に限定しているが、今後は、実施地区数等についてその効果を見極めて決定するなど更なる予算削減に向けた検討を行うとともに、今後とも公平性・透明性・競争性のある調達に努め、効率的な執行を行うとともに、目的に即した効果的・効率的な事業の実施に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業内容を重点化することにより事業規模を縮小すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	支援地域数、人件費等の見直しにより経費を節減し概算要求額を減額。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

※平成22年度実績を記入

環境省
83百万円

里地里山の保全活動の全国的な展開を図るとともに、世界の自然資源の持続可能な利用・管理の枠組みを構築し、自然共生社会を実現する。

【総合評価】

A. (財)国立公園協会
21百万円

里地里山の保全・利活用の推進方策について検討を行い、里地里山保全活用行動計画を作成
全国の保全活動の参考となる特徴

【総合評価】

C. (株)プレック研究所・
(財)自然環境研究センター
47百万円

全国の保全活動の参考となる特徴的な取組について体系的に取りまとめた事例集及び検索システムの作成
自然資源の利活用方策及び里地里山の取組への多様な主体の参加促進方策について検討

【総合評価】

B. (財)水と緑の惑星保全機構
15百万円

研修会の開催や講師の紹介による助言・ノウハウの提供などの技術支援

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。費
 目と使途の双方で実情が分かる
 ように記載)

A. (財)国立公園協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	総括研究員及び研究員	15			
旅費	検討委員	1			
その他	謝金、借料、印刷製本費等	5			
計		21	計		0
B.(財)水と緑の惑星保全機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	総括研究員及び研究員	11			
旅費	専門家、講師、職員	2			
諸謝金	専門家、講師	1			
その他	印刷製本費、通信運搬費	1			
計		15	計		0
C.(株)プレック研究所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
共同研究費	(財)自然環境研究センター (委託業務概要を記載)	10			
人件費	総括研究員及び研究員	34			
その他	印刷製本費、郵送費等	3			
計		47	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)国立公園協会		21	1	83.4

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)水と緑の惑星機構		15	1	93.3

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)プレック研究所		47	1	94